

森林部門技術士会 定款

第1章 総 則

第1条 本会は、森林部門会技術士会と称する。

第2条 本会は、事務局を東京都おく。

第3条 本会は、会員相互の連絡と協力を基調とし、技術士の地位の向上と制度の普及を通じて技術士業務の発展を図り、もって国土の保全・開発と林業・林産の振興に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 会員相互の連絡と協力を密にするための活動
- (2) 会員の技術士業務開発に関する活動
- (3) 会員の技術士業務遂行に関する支援
- (4) 会員の技術を通じての一般社会に対する寄与
- (5) 政府及び公共団体などに対する協力
- (6) 政府及び公共団体などに対する意見の具申
- (7) 会誌の発行
- (8) 調査研究の実施
- (9) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第2章 会員及び会費

第5条 本会の会員は、正会員・準会員及び賛助会員とする。

- 2 正会員は、森林部門の技術士及び技術士本試験合格者で、本会に入会の申し込をしたものとする。
- 3 準会員は、森林部門の技術士補及び技術士第1次試験合格者で、本会に入会の申し込をしたものとする。
- 4 賛助会費は、本会の趣旨に賛同し、第6条の会費1口以上を納入する個人又は法人で、本会理事会が入会の承認をしたものとする。

第6条 正会員の会費は、年額6,000円、準会員の会費は、年額3,000円とする。

賛助会員の会費は、年額1口1万円とする。

- 2 前項の会費は、入会当初は入会時に、次年度以降は毎年4月に本会に納入するものとする。
- 3 正会員及び準会員は、入会時に入会金2,000円を納入するものとする。
但し、準会員より正会員になったときは入会金を要しない。

第7条 本会は、必要に応じ支部及び専門部会をおくことができる。

第8条 正会員が本会の目的に反する行為もしくは技術士の品

位を失うような行為をしたとき、又は、会員が引き続き2年度にわたり会費を納めないときは、理事会の決議により除名することができる。

第3章 役 員

第9条 本会に、次の役員をおき選出は次のとおりとする。

- 会長 1名
副会長 若干名
理事 30名以内
監事 2名

正副会長は理事の互選とし、専務理事及び常務理事は会長が理事のうちから指名する。

第10条 理事及び監事は、総会において会員の中から選出する。

第11条 会長は、本会を代表し、本会の業務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。専務理事及び常務理事は、会長の命を受け会務を処理する。
- 3 理事は、理事会を構成し、本会の運営に関する重要事項を審議決定し、会長を補佐して事務の実行に当たる。
- 4 監事は、会の会計を監査する。

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員に欠員を生じ、会長が補充の必要を認めたときは、会長が理事会の承認を得て補充することができる。

但し、補充役員の任期は、前任者の残存期間とする。

第13条 本会は、理事会の承認を得て、顧問、参与をおくことができる。

- 2 顧問、参与は、会議に出席して意見を述べることができる。

第4章 会 議

第14条 本会の会議は、総会及び理事会とし、会長がこれを召集する。

- 2 通常総会は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に開催する。
- 3 臨時総会は、必要に応じ開催する。
- 4 定例理事会は、毎年1回開催し、理事会は必要に応じ開催する。

第15条 総会においては本定款において別に規定するもののほか、次の事項を付議する。

- (1) 業務計画及び予算の決定

- (2) 業務報告及び決算の決定
- (3) 本会定款の改廃
- (4) その他理事会において、総会に付議する必要がある
と認めた事項

第16条 総会は、会員の3分の1以上が出席しなければ開くこと
ができる。

2 総会の決議は、出席会員の3分の2以上の賛成をもつて決定する。

第17条 理事会は、理事の3分の1以上が出席しなければ開くこと
ができる。

2 理事会の決議は、出席理事の2分の1以上の賛成をもつて決定する。

3 理事会は、次の事項の審議又は処理に当たる。

(1) 総会に提出する議案に関する事項

(2) 総会により委任された事項

(3) その他運営または活動に関する事項

第18条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつて支弁する。

第19条 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

付 則

この定款は平成24年4月1日から施行する。

(平成 2年6月29日改正)

(平成 9年6月20日改正)

(平成 14年5月30日改正)

(平成 16年4月26日改正)

(平成 23年4月18日改正)